

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能型事業所 Uru		
○保護者評価実施期間	令和6年4月1日		～ 令和7年 2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15名	(回答者数) 14名
○従業者評価実施期間	令和6年4月1日		～ 令和7年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月21日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	●多職種がそれぞれの役割分担の中でご家族や関係機関と現在の姿を共有しともに未来をイメージした支援ができること。	●個別、集団活動の中で個々の評価を実施しながら多職種からの視点での意見交換をミーティングで共有できている。共有事項を支援に反映させてご家族様へ共有している。 ●ご家族様によっては連携の対応が難しい場合もありますのでご家族に合わせたご提示をしております。	●共有事項を増やし支援に反映するためには時間の確保が必須である。しかし、職員それぞれの知識量や認識の違いもあり共通理解を得るためには時間を要する為ご研さんの為の動画研修を来年度は取り入れそれぞれが質の向上を目指す。
2	●多様な働き方ができ、キャリアアップを目指している。	●人員配置以上の雇用を実現する為日々、ホームページの更新やハローワーク等と連携を図っている。 ●事業所における業務量が多いため、ICT化や業務改善をしながら短時間で作業が完結できるよう日々話し合いを重ねている。また、他職員も担当者会議や面談、アセスメントができるよう日々連携を図っている。	●資格支援規定を設けているため、周知を図り事業拡大を図りそれぞれの職員が安心してキャリアアップし、やりがいを持ちながら働ける環境を整えていく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	●研修制度の確立	●多機能型として午前中に発、午後より放デイと1日通して支援している観点から全員揃っての研修が難しいことがある。なるべく、全員揃っての研修を心がけています。しかし、法定研修はできるものの自己研さんの研修が難しい。休日等を利用すると従業者の負担になりかねないのでなるべく営業時間内で補えるようにしていきたい。	●来年度から法定研修含め、自己学習ができる研修制度を導入することになった。1年通して時間の確保がどのくらいでき、質の向上が見込めるかを様子観察していく。
2	●併行通園している家庭のペアトレの提供困難。	●毎年、自己評価の中でペアトレが課題に出ているが、併行通園されている児童が大変を占め皆様就労されていることから、全員そろっての研修が難しいのが課題として考えている。休日を利用となるとご家庭の行事等も考慮できるだけ、行事等を利用し都度家庭に応じて対応している現状である。	●事業所として、休日にお越しいただくことは現在の所考えていません。年間行事を4月の時点でお伝えし保護者様へ事前にお知らせしていただけるようにしていきます。また、ペアトレの内容を伺いながらどの様な内容がいいのかアンケートが取れるように調整できればと考えていく。
3	●職員確保の難しさ	●現在、多職種が在籍していただいておりますそれぞれが業務を抱えている。専門職になると一人で抱える事も多いので多様な働き方や柔軟に対応できるように事業所として努力しているが報酬体系として難しい場面もある。	●事業所で働く魅力や収益を上げ職員に還元できる仕組みを独自で作ってまいります。

公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		多機能型事業所Uru						公表日	令和7年3月17日	
		利用児童数				15名		回収数 14枚		
	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応			
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13		1		・教室に関しては充分だと思いますが外にスペースがあればいいと思う ・のびのびできてからOK	●ご意見ありがとうございます。外のスペースに関しては建物の構造上難しい為、公園で遊ぶ機会や散歩等の戸外活動を取り入れていきます。		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	13			1	・子供の数に対して、職員さんが見れる数だと思うから	●人員基準以上の配置をしております。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	11	2	1		・室内しかないので入った時にちょっと暗い ・みてすぐ分かるし、バリアフリーでいいと思う	●ご意見ありがとうございます。室内は構造化し、療育に集中できる環境を整えております。室内が暗い件に関しては、電球の色を変えたりと工夫はしましたが、天気等で変化する場合もありますので照明を工夫していきます。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	13	1			・1人1人が広々とした空間で活動ができるからいいと思う	●サービス提供時間前には必ず掃除を実施して清潔を保っています。		
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	13	1			・専門性のある支援員が、いろんな面でみてるからありがたい!!STさんが来てくれるのも ・よく理解して頂いていると思います。	●ご意見ありがとうございます。日々、質の向上を目指しておりますので今後ともよろしく願いいたします。		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14				・めっちゃおもいます!	●ご意見ありがとうございます。		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	14				・日頃私が知らない子どもができていて、理解してくれていて作成されているなと感じている	●ご意見ありがとうございます。児童の得意な所や保護者様やご本人の支援していただきたいことをアセスメント、支援会議を実施しながら立案しています。		
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	13			1	・めっちゃおもいます	●ご意見ありがとうございます。励みになります。		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	14				・計画に沿って支援しているので本当にありがたい	●お一人お一人に合わせた支援を実施させていただいております。今後とも質の向上を目指していきます。		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14				・活動内容がすごく豊富だと感じる ・いろんな活動を取り入れて下さって、子ども楽しんでるようです。	●個別、集団活動を取り入れそれぞれに合わせたプログラムを提供できるように今後も工夫を続けていきます。		
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	10			4		●並行通園していますので特に機会を設けておりません。		
保護者	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	14				・とてもわかりやすい説明でした	●ご意見ありがとうございます。今後も丁寧な説明を心がけていきます。		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	14				・分かりやすく簡単に教えてくれました!	●ご意見ありがとうございます。支援内容の説明を適宜行なっていきます。		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	12			2	・参観日などで日頃どんなことをしているのかとかわかるからありがたい	●ご家族様に対してペアトレ等は実施しておりませんが、親子での参観日や面談等を通して療育にて使用している教材や目的等の情報提供をしたり、困りごとや相談事に対応しております。今後も、支		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	14				・困っていることもすぐ相談して、共有している ・毎回活動内容を送って下さり、子どもの様子がよく分かります。	●ご意見ありがとうございます。共通理解ができるよう心掛けるようにしております。今後も共通理解できるよう努力していきます。		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	14				・色んな知識を教えてください、すごく助かっています	●定期的な面談と適宜必要に応じて面談を通じて助言等を実施していきます。		
17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	13	1				●ご意見ありがとうございます。引き続き継続できるように支援させていただきます。			

への説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	9	1	4	・1人しかいないため	●ご意見ありがとうございます。保護者様の負担軽減等を考慮し父母の会を設けておりません。また、利用児皆様が併行通園されておりますのできょうだい支援等は直接行っておりません。必要に応じて開催できるように検討いたします。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	14				●ご意見ありがとうございます。相談や申し入れ等がございましたら迅速に対応させていただきます。今後とも必要に応じて迅速かつ適切に対応させていただきます。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	14				●利用時の連絡帳やLINE等を通じて日頃の様子をお伝えしております。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	13		1	・毎月の行事など分かりやすい ・毎月の行事予定などを送って下さるので分かりやすいです。	●ご意見ありがとうございます。毎月通信や号外等を定期的に発行しております。また、自己評価を弊社ホームページに掲載しておりますので是非ご覧ください。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	14				●関係機関のみに情報提供させていただいております。また、写真等の掲載はプライバシー保護の観点から最小限に限定しております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12	1	1		●ご意見ありがとうございます。マニュアル等は事業所に保管しております。開示できるように検討いたします。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	13		1		●定期的に避難訓練（災害、火事等）を計画しております。通信の活動内容にてお知らせしておりますのでご確認ください。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	14				●日々、安全を第一に支援させていただいております。足りない点がありましたら適宜職員や保護者様よりご意見をいただいておりますのでお知らせください。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13		1		●体調面や怪我等変化がございましたら、保護者様はもちろん関係機関に必ずご連絡させていただいております。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	14			・めっちゃ安心感を持っている ・先生方の声かけや援助がいつも本人の安心して過ごせるように日々心がけてやる気につながっています。	●ご意見ありがとうございます。児童様の安心して過ごせるように日々心がけていきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	13	1		・通所時も楽しそうに活動するのでよかったです ・楽しんで通所しているよう様子です。 ・支援日でない日も、たまに「行きたかった」と言うことがあります。	●ご意見ありがとうございます。通所を楽しみにしていただき大変励みになります。状況に応じて足が向かないこともありますので都度話をしながら進めております。足が向かない際には保護者様や関係機関と連携し今後の方針を話し合う機会を設けることを実施しております。
	29	事業所の支援に満足していますか。	14			・めっちゃ満足です!!いつもありがとうございます! ・大満足です。	●ご意見ありがとうございます。満足いただき感謝しております。今後も質の向上、児童様の安全第一に支援して参ります。

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	多機能型事業所 Uru		公表日 令和7年3月17日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		<ul style="list-style-type: none"> <li>・一室ではあるが区切られているため1つ以上の動きをする際に子供に伝えやすい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽療法や運動等の動きのある動作や走る等においては、(人数にもよるが)せまいなと感じる事もある</li> <li>●活動によっては狭く感じることもありますが構造上難しいことがありますので最大限空間を活かせるようにいたします。</li> </ul>
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		<ul style="list-style-type: none"> <li>・人数的にはOKだと思う。</li> <li>・気持ちの切りかえが難しい子供さんに対して、送迎から支援まで同じ職員が対応する事で状態像を把握しやすい工夫ができています。</li> <li>・送迎時で場所が異なるので職員の人数によっては難しい時もあるがお互いに協力し合って配置している。活動の際には十分な人数だと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援する側の対応においては難しいことも</li> <li>●人員配置以上の配置ができるよう努力していますが、お子様の状態によっては難しいことがある為職員が連携しながら支援できるよう心掛けます</li> </ul>
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建物の構造上、構造化されているか難しい所もあるが、工夫する事で、環境上の配慮を行っている</li> <li>・柱や戸の仕切り等で危険な所は活動に応じて職員を配置できていると思う。</li> <li>・事務所、療育の場所の違いをそれぞれ伝え、事務所に入る際は「失礼します」とその都度言えるようになっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・柱等は危険だが…構造上などで仕方ない点も。</li> <li>●構造上難しいこともありますが、危険回避の方法を知らせながら難しい場合にはカバーを検討いたします。</li> </ul>
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7			<ul style="list-style-type: none"> <li>●営業日の朝にはスタッフ全員で掃除を実施しております。</li> </ul>
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別の部屋自体がないので難しいが、状況等によって目かくしや落ちつく場所を作り、工夫している</li> <li>・個別の部屋はとれていないが建具等で部屋をしきる事で対応できている。</li> <li>・専門の個別活動の際は子どもに伝え、別室で活動している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●完全な別室を確保はできない状況ではあるが、パーティション等や静かな部屋を利用し個別活動が実施できるように努力している。</li> </ul>
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援時間後に振り返り等の話し合いを行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意識がそれぞれ違うような気はする。</li> <li>・日々のミーティングで情報を共有し、今後の活動につなげていけるようそれぞれの意見を述べる。</li> </ul>
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6			<ul style="list-style-type: none"> <li>●全世帯に向けて評価表を配布し全職員へ周知し可能な限り改善している。</li> </ul>
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ミーティングの時間を活用したり、必要に応じて相談している</li> <li>・活動後のミーティングを通して気になった事や提案などそれぞれが意見を出し合っている。</li> <li>・毎日ミーティングを実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●多機能型である為時間確保が難しい場面があるが、ミーティングに参加できない職員は共有ノートを通して知ることができる体制を整備している。</li> </ul>
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・どこまでできているか私自身が把握していない</li> <li>●第三者評価としては依頼していないが、関係機関の方の出入りが多く都度評価していただいたり保護者の方を事業所に招いているためいつでも評価いただけるよう準備している。</li> </ul>
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の回数は業務の関係で少ないと思うが、子供の評価結果等を含めた支援方法の話し合いは振り返りの時間にとるように努力している。</li> <li>・活動に活かせるような研修を受けている。</li> <li>・感染・虐待防止委員会は年2回の勉強会を実施している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●適宜必要な研修に参加できるように促しているが、業務や人員の関係で参加できないこともある。来年度よりeラーニングにて研修を受講できる環境を整えましたので自己学習に取り組んでいただけます。</li> </ul>
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ミーティングにて情報共有、計画の検討、内容確認が行えていると思う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ホームページにて公表しております。</li> </ul>

適切な支援の提供	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7		・ミーティングにて情報共有、計画の検討、内容確認が行えていると思う	●個々のこどもに対してアセスメントを利用児童や保護者のニーズを捉えて計画を作成し、共有している。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		・ミーティングにて情報共有、計画の検討、内容確認が行えていると思う	●日頃より、情報共有に努め、計画検討や内容確認を実施できるよう努めております。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		・ミーティングにて情報共有、計画の検討、内容確認が行えていると思う	●日頃より、情報共有に努め、計画検討や内容確認を実施できるよう努めております。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6			・どの程度しっかりしたものを使用しているのかを問われると「これでいいのか?」と思うが、アセスメント等を確認しながら行っているつもりではある。 ●様式として準備しておりますが、不足な内容がある際には検討していきます。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		・項目に沿ってそれぞれの内容について計画を立てている。	●5領域を基に項目に沿って計画の立案ができています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	1		・活動内容においては、チーム（全体）での立案に至っていないのでは?! ●今後はチーム全体で立案ができるよう努めます	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		・月案や個別活動の内容に工夫がある。	●多職種が連携することによって活動プログラムが固定化しないよう努めています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7		・その日の状況で活動内容を変更する子供さんもいるし、子供の状況（発達状況）に合わせて支援できている。	●支援プログラムとしては、個別、集団活動を取り入れているが、利用児の状態によっては変更することもある。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	1	・朝礼やミーティングで確認している	・以前ミーティングで上がりましたが、主の人は昼のミーティングで翌日の支援内容を伝えるということを全員がしていただきたいです。 ・伝達が上手く行かず周知が難しいことがある。朝礼やミーティング等を通して全員周知できるよう徹底していく。 ●連携ができていないことがある為再検討いたします。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		・対応の仕方、お互いの気づき等を伝え合えるので今後も継続できればと思う。	●支援終了後にはできる限り振り返りを実施しています。気付きや支援方法の振り返りをしています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		・連絡帳に記載したうえで、ミーティングでの話し合いを行っている	●利用日には必ず記録を残し保護者様と共有しております。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		・6カ月毎に必ずモニタリングを実施	●6カ月毎に必ずモニタリングを実施しております。必要に応じて期間は変更していきます。	
	関係機	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7			●会議には必ず参加し情報共有や相談支援事業所の方と連携を図っております。
		25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1		・協力的でない機関もあり、上手に情報共有が行えず困っている ●関係機関への制度の説明や取り組み方など再検討していきます。
		26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7			●現在併行利用されている方が多いので個々に合わせて情報共有を実施している。
		27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7			●入学先への情報共有は出来る限り提供しています。
		28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				

関 や 保 護 者 と の 連 携	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
	31	(31は、事業所のみ回答)	5	1			<ul style="list-style-type: none"> <li>・その機会を設けているのか、私自身が分かっていないのかもしれない。</li> <li>●児童発達支援センターと連携を図ることは難しい。また、事業所への周知等もないため困っている。必要に応じては市や県の担当者に問合せます。</li> </ul>
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。					
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行事等へも参加できるよう日程調整や送迎時間の調整を行っている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・午前中のみ療育となる為、一緒に活動もしくは交流は難しい</li> <li>・園の方針等で難しいこともある。</li> <li>●現在利用されている児童様は併行通園されている為日頃より地域のこどもと活動する機会がある為取立てて設けていない。</li> </ul>	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7				
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	3			<ul style="list-style-type: none"> <li>・面談や相談時などにアドバイスはするが、そのスキルや知識を身につける研修は行っていない。</li> <li>●保護者様のお仕事事情も考慮しつつ、研修等ができるように検討いたします。</li> </ul>	
保 護 者 へ の 説 明 等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7			<ul style="list-style-type: none"> <li>●利用契約時にご説明しています。必要に応じて適宜追加での説明も行っています。</li> </ul>	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7			<ul style="list-style-type: none"> <li>●日頃よりこどもの最善の利益を優先考慮して支援や計画を立案しています。</li> </ul>	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7			<ul style="list-style-type: none"> <li>●適宜支援内容等の説明を踏まえて同意を得ています。</li> </ul>	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7			<ul style="list-style-type: none"> <li>●適宜面談や助言等を提供しています。必要に応じて担当者会議を開催することもあります。</li> </ul>	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参観日の機会を設け、保護者が集まり、話しやすい場を提供している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参観日等で保護者同士の交流を図る機会を設けることはあるが、きょうだい同士で交流する場は設けていない。</li> <li>●併行通園されている保護者様の負担を考慮して父母の会を設けていないですが、要請があれば会を発足できるようにしていきます。</li> </ul>	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7			<ul style="list-style-type: none"> <li>●適宜面談や相談等に対応しております。早急に難しい場合にもオンラインや電話等に対応することも実施しており迅速にかち適切に対応しております。</li> </ul>	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7			<ul style="list-style-type: none"> <li>●月に1度活動内容や児童の様子をお伝えしている通信を発行しています。当月の活動内容を表にしてお渡しすることで共有できています。</li> </ul>	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			<ul style="list-style-type: none"> <li>・配布物や記録などごまめに確認をしていく。</li> <li>●入職時に個人情報の取り扱いについて誓約書をいただいております。</li> </ul>	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> <li>・連絡事項や連絡帳においてはLINEにて行っている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●情報共有や伝達等では、共通認識できるように連絡事項や連絡帳等は間違えないようにLINEや文書にてお知らせしております。</li> </ul>	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	4		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域を巻きこんでの行事は行っていない</li> <li>●併行通園されている児童が10割を占めているため地域の方を招待する機会を設けていない。並行通園先の職員が見学に来られることもあり地域の方をいつでも受け入れられるようにしている。</li> </ul>	
45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7			<ul style="list-style-type: none"> <li>・最近入社されたスタッフ以外は把握しているが、今後の研修等を通して全職員周知していく。</li> <li>●適宜マニュアルの伝達をしていく。</li> </ul>		

非常時等の対応	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6			
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5			・アレルギーの子どもはいないが今後、アレルギーのある子どもを受け入れる際は情報を共有する。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	1		・ミーティングでの話はするが、ヒヤリハットの記入においては不十分なところがある ●ヒヤリハットを活用していく
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		・計画を立て定期的に行っている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	1		